

# 定有堂「読む会」で読んだ本

作成：岩田直樹（公立鳥取環境大学特任教授（「読む会」選書係））

年	月	日	曜	著者名	タイトル	出版社	
1988				佐伯胖	コンピュータと教育	岩波書店	第1回
1988				岡倉徹志	イスラム急進派	岩波書店	第2回
1988	4	2	土		テキストなし(ロラン・バルトを語る)		第3回
1988	5			金田一春彦	日本語(上)(下)	岩波書店	第4回
1988	6			網野善彦ほか	日本王権論	春秋社	第5回
1988	7	2	土	山口昌男	文化人類学への招待	岩波書店	第6回
1988	8	6	土	高田淳	易のはなし	岩波書店	第7回
1988	9	24	土		テキストなし(ユングについて)		第8回
1988	10	8	土	秋山さと子	ユングの性格分析	講談社	第9回
1988	11	5	土	丸山圭三郎	言葉と無意識	講談社	第10回
1989	3	11	土	作田啓一	個人主義の運命	岩波書店	第13回
1990							
1991							
1992							
1993							
1994	9	28	水	今村仁司	貨幣とは何か	筑摩書房	
1994	10	19	水	赤坂憲雄	異人論序説	筑摩書房	
1994	11						
1995	1						
1995	2						

1995	3	29	水	今村仁司	ベンヤミンの〈問い〉	講談社
1995	4	26	水	西谷修	不死のワンダーランド	青土社
1995	5	17	水	加賀野井秀一	20世紀言語学入門	筑摩書房
1995	6	21	水	中本征利	任侠のエトス	勁草出版サービスセンター
1995	7	19	水	中井久夫	1995年1月・神戸	みすず書房
1995	9	20	水	加地伸行	儒教とは何か	中央公論社
1995	10	25	水	森岡正博	生命観を問いなおす	筑摩書房
1995	11	15	水	永井均	ウイトゲンシュタイン入門	筑摩書房
1995	1					
1995	2					
1995	3					
1996	4	23	火	上田紀行	宗教クライシス	岩波書店
1996	6	25	火	小森陽一	漱石を読みなおす	筑摩書房
1996	7	24	水	斉藤学	アダルト・チルドレンと家族	学陽書房
1996	8					
1996	9	25	水	大澤真幸	虚構の時代の果て	筑摩書房
1996	10	29	火	木村敏	分裂病と人類	東京大学
1996	11	25	月	佐々木力	科学論入門	岩波書店
1997	1	28	火	上垣外憲一	雨森芳洲	中央公論社
1997	2	25	火	宮島博史	両班	中央公論社
1997	3					
1997	4					
1997	5					

1997	6					
1997	7	15	火	長谷川宏	新しいヘーゲル	講談社
1997	8					
1997	9	16	火	山之内靖	マックス・ウェーバー入門	岩波書店
1997	10	21	火	川勝平太	日本文明と西洋近代	NHK出版
1997	11					
1998	1					
1998	2					
1998	3					
1998	4					
1998	5					
1998	6	16	火	立岩真也	私的所有論	勁草書房
1998	7			ハーバーマス	イデオロギーとしての技術と科学	紀伊国屋書店
1998	8	18	火	今村仁司	近代の思想構造	筑摩書房
1998	9			鎌田慧	ドキュメント屠場	岩波書店
1998	10	20	火	ベッテルハイム	近代人の疎外	岩波書店
1998	11	17	火	今村仁司	近代の労働観	岩波書店
1999	1	26	火	野田宣雄	20世紀をどう見るか	文藝春秋
1999	2	16	火	西川長夫	国民国家論の射程	
1999	3					
1999	4	20	火	レヴィナス	実存から実存者へ	講談社
1999	5					
1999	6	15	火		『現代思想』部落民とは誰か	青土社

1999	9	21	火	鶴見太郎	柳田国男とその弟子たち	人文書院
1999	10	19	火	徐京植	新しい普遍性へ	影書房
1999	11	16	火	熊野純彦	レヴィナス	筑摩書房
2000	1	18	火	高木仁三郎	市民科学者として生きる	岩波書店
2000	2	15	火	鶴見太郎	橋浦泰雄伝	晶文社
2000	3	21	火	ハンチントン	文明の衝突と21世紀の日本	集英社
2000	4	18	火	ハーバーマス	近代 未完のプロジェクト	岩波書店
2000	5	23	火	柄谷行人	倫理21	平凡社
2000	6					
2000	7	18	火	阿部勤也	「世間」とは何か	中央公論社
2000	8			佐藤俊樹	不平等社会日本	中央公論社
2000	10	24	火	竹内洋	教養とは何か	中央公論社
2000	11	21	火	上垣外憲一	暗殺・伊藤博文	筑摩書房
2001	1	16	火	白石二郎	海の帝国	中央公論社
2001	2					
2001	3					
2001	4					
2001	5					
2001	5	22	火	木田元	偶然性と運命	岩波書店
2001	6	19	火	中沢新一	贈り物と交換の文化人類学	講談社
2001	7	24	火	中井久夫	治療文化論	岩波書店
2001	11	20	火	宮田律	現代イスラムの潮流	集英社
2002	1	22	火	管野覚明	神道の逆襲	講談社

2002	2			原武史	<出雲>という思想	講談社
2002	3	19	火	桜井進	江戸のノイズ	NHK出版
2002	4					
2002	5	21	火	保坂和志	世界を肯定する哲学	筑摩書房
2002	6	18	火	ダワー	敗北を抱きしめて(上)	岩波書店
2002	6	18	火	ダワー	敗北を抱きしめて(下)	岩波書店
2002	7			ファウラー	山谷ブルース	新潮社
2002	8	27	火	池東旭	韓国大統領列伝	中央公論社
2002	9					
2002	10	15	火	広井良典	定常型社会	岩波書店
2002	11	19	火	姜信子	定住しない私たちの文化	晶文社
2003	1	21	火	西原克成	内臓が生みだす心	NHK出版
2003	2					
2003	3					
2003	4	15	火	網野善彦	「日本」とは何か	講談社
2003	5	20	火	加藤尚武	戦争倫理学	筑摩書房
2003	6	17	火	姜尚中	日朝関係の克服	集英社
2003	7	22	火	東浩紀	動物化する世界の中で	講談社
2003	8	19	火	菅野仁	ジンメル・つながりの哲学	NHK出版
2003	9	16	火	竹内洋	教養主義の没落	筑摩書房
2003	10					
2003	11					
2004	1	20	火	内田樹	ためらいの倫理学	角川書店

2004	2	17	火	テッサ＝モーリス・スズキ	批判的想像力のために	平凡社
2004	3					
2004	4					
2004	5	18	火	大塚英志	「おたく」の精神史 1980年代論	筑摩書房
2004	6	15	火	山脇直司	公共哲学とは何か	筑摩書房
2004	7	20	火	田中克彦	ことばとは何か	講談社
2004	8	17	火	山田寛？	ポルポト革命史	講談社
2004	9	21	火	斉藤貴男	安心のファシズム	岩波書店
2004	10	19	火	河合幹雄	安全神話崩壊のパラドクス	岩波書店
2004	11	16	火	魚住昭	野中広務 差別と権力	講談社
2005	1	15	火	ロイ	帝国を壊すために	岩波書店
2005	2	15	火	中沢新一	僕の叔父さん 網野善彦	筑摩書房
2005	3					
2005	4	19	火	沖浦和光	幻の漂泊民サンカ	文藝春秋
2005	5	17	火	本橋哲也	ポストコロニアリズム	岩波書店
2005	6	21	火	高橋哲哉	靖国問題	筑摩書房
2005	7	19	火	浦雅春	チーホフ	岩波書店
2005	8	23	火	興梠一郎	中国激流	岩波書店
2005	9	27	火	マルクス	経済学・哲学草稿	岩波書店
2005	10	18	火	廣松渉	今こそマルクスを読みなおす	講談社
2005	11	22	火	王陽明	伝習録	中央公論社
2006	1	17	火	市村弘正、杉田敦	社会の喪失	中央公論社
2006	2	14	火	山下範久	帝国論	講談社

2006	3	28	火	岩下明裕	北方領土問題	中央公論社
2006	4	15	土	高多彬臣	エマニュエル・ムーニエ	青弓社
2006	5	16	火	柄谷行人	世界共和国へ	岩波書店
2006	6	27	火	三島憲一	現代ドイツ	岩波書店
2006	7					
2006	8	22	火	内藤正典	イスラーム戦争の時代	NHK出版
2006	9	19	火	松田寿男	アジアの歴史	講談社
2006	10	17	火	橋木俊詔	格差社会	岩波書店
2006	11	21	火	末木文美士	日本宗教史	岩波書店
2007	1	23	火	マルクス・アウレ ニウス	自省録	岩波書店
2007	2					
2007	3					
2007	4	17	火		福音書	岩波書店
2007	5	15	火		レビ記	岩波書店
2007	6	26	火		民数記	岩波書店
2007	7	17	水		申命記	岩波書店
2007	8	21	火	アウグスティヌス	告白(上)	岩波書店
2007	9	18	火	アウグスティヌス	告白(下)	岩波書店
2007	10	16	火	鈴木道彦	越境の時	集英社
2007	11	20	火	テッサ＝モーリ ス・スズキ	北朝鮮へのエクソダス	朝日新聞社
2008	1	25	金	井筒俊彦	意識の形而上学	中央公論社
2008	2	26	火	井筒俊彦	マホメット	講談社
2008	3	18	火	井筒俊彦	イスラーム哲学の原像	岩波書店

2008	4					
2008	5	20	火	山田晶	アウグスティヌス講話	講談社
2008	6					
2008	7	22	火	マホメット	コーラン(上)	岩波書店
2008	8	19	火	中村廣二郎	イスラム教入門	岩波書店
2008	9	16	火	大川周明	回教概論	岩波書店
2008	10	28	火	片山 杜秀	近代日本の右翼思想	講談社
2008	11	18	火	ワット	地中海世界のイスラム	筑摩書房
2009	1	27	火	モーハン・セーン	ヒンドゥー教	講談社
2009	2	27	金	フィールド	小林多喜二	岩波書店
2009	3	27	金	高橋 裕史	イエズス会の世界戦略	講談社
2009	4	17	金	立川武蔵	空の思想史	講談社
2009	5	15	金	孫文	三民主義	中央公論社
2009	6	23	火	ジョンストン	紫禁城の黄昏(上)	祥伝社
2009	6	23	火	ジョンストン	紫禁城の黄昏(下)	祥伝社
2009	7	17	金	魯迅	故郷・阿Q正伝	光文社
2009	8	25	火	片山智行	魯迅－阿Q中国の革命	中央公論社
2009	9	29	火	田中克彦	ノモンハン戦争	岩波書店
2009	10	27	火	小林英夫	<満洲>の歴史	講談社
2009	11	24	火	加藤優子	それでも日本人は「戦争」を選んだ	朝日出版
2010	1	26	火	加藤聖文	「大日本帝国」崩壊	中央公論社
2010	2	26	金	西沢泰彦	日本の植民地建築	河出書房
2010	3	30	火	日暮吉延	東京裁判	講談社

2010	4	20	火	朱建栄	毛沢東の朝鮮戦争	岩波書店
2010	5	1	火	下斗米伸夫	アジア冷戦史	中央公論社
2010	6	25	金	堀江則雄	ユーラシア胎動	岩波書店
2010	7	27	火	宮城大蔵	「海洋国家」日本の戦後史	筑摩書房
2010	8	31	火	宮嶋博史ほか	『思想－韓国併合100年』2010年 1月号	岩波書店
2010	9	21	火	岩波新書編集部 編	日本の近現代史をどう見るか	岩波書店
2010	10	25	火	宇野重規	トクヴィル 平等と不平等の理論家	講談社
2010	11	29	火	広井良典	コミュニティーを問いなおす	筑摩書房
2011	1	25	火	金文京	漢文と東アジア	岩波書店
2011	2	25	火	小林正弥	サンデルの政治哲学	平凡社新書
2011	3	29	火	中島義道	悪について	岩波書店
2011	4	26	火	植村邦彦	市民社会について	平凡社
2011	5	31	火	永井均	倫理について	筑摩書房
2011	6	17	金	中里成彰	パル判事	岩波書店
2011	7	26	火	菊池理夫	日本を甦らせる政治思想	講談社
2011	8	30	火	堂目卓生	アダム・スミス	中央公論新 社
2011	9	27	火	小川仁志	はじめての政治哲学	講談社
2011	10	25	火	宇野重規	トクヴィル 平等と不平等の理論家	講談社
2011	11	29	火	広井良典	コミュニティーを問いなおす	筑摩書房
2012	1	31	火	井上達夫	現代の貧困	岩波書店
2012	2	28	火	森山公男	統合失調症	筑摩書房
2012	3	20	火	越沢明	後藤新平	筑摩書房
2012	4	24	火	中沢新一	日本の大転換	集英社

2012	5	29	火	西川長夫	パリ5月革命私論	平凡社
2012	6	19	火	服部龍二	日中国交正常化	中央公論新 社
2012	7	31	火	伴野準一	全学連と全共闘	平凡社
2012	8	28	火	市田良彦	革命論	平凡社
2012	9	25	火	サイド	知識人とは何か	平凡社
2012	10	30	火	ペルヴィエ	アルジェリア戦争	白水社
2012	11	29	火	コーエン＝ソラル	サルトル	白水社
2013	1	29	火	波多野澄雄	国家と歴史	筑摩書房
2013	2	26	火	孫崎亨	日本の国境問題	筑摩書房
2013	3	19	火	大治朋子	勝てないアメリカ	岩波書店
2013	4	23	火	南直哉	恐山	新潮社
2013	5	28	火	新雅史	商店街はなぜ滅びるのか	光文社
2013	6	21	金	山下祐介	限界集落の真実	筑摩書房
2013	7	30	火	小熊英二	社会を変えるには	講談社
2013	8	27	火	荒井信一	コロニアリズムと文化財	岩波書店
2013	9	24	火	マキャベリ	君主論	講談社
2013	10	22	火	藤田覚	幕末の天皇	講談社
2013	11	18	火	シェインドリン	ユダヤ人の歴史	河出書房新 社
2014	1	21	火	柴山正俊、森山 公男	現代社会と解離の病態、解離論の 新構築	論文
2014	2	25	火	田中宏	在日外国人(第3版)	岩波書店
2014	3	18	火	青木薫	宇宙はなぜこのような宇宙なのか	講談社
2014	4	22	火	合田正人	幸福の文法	河出書房新 社
2014	5	27	火	ダイヤモンド他	知の逆転	NHK出版

2014	6	24	火	河西英通	東北	中央公論新社
2014	7	29	火	ラス・カサス	インディオスの破壊に関する簡潔な報告	岩波書店
2014	8	26	火	松元雅和	平和主義とは何か	中央公論新社
2014	9	30	火	鈴木大拙	日本的靈性 完全版	角川書店
2014	10	24	金	桜井英治	贈与の歴史学	中央公論新社
2014	11	25	火	ベネディクト	菊と刀	平凡社
2015	1	27	火	笠井潔、白井聡	日本劣化論	筑摩書房
2015	2	24	火	高田博俊	ヒトラー演説	中央公論新社
2015	3	31	火	横手慎二	スターリン	中央公論新社
2015	4	28	火	木畑洋一	20世紀の歴史	岩波書店
2015	5	26	火	大谷正	日清戦争	中央公論新社
2015	6	16	火	田中康二	本居宣長	中央公論新社
2015	7	28	火	板橋拓己	アデナウアー	中央公論新社
2015	8	18	火	木村靖二	第1次世界大戦	中央公論新社
2015	9	29	火	川北稔	イギリス 繁栄のあとさき	講談社
2015	10	30	火	上原善広	異邦人	文藝春秋
2015	11	24	火	マリノフスキー	西太平洋の遠洋航海者	講談社
2016	1	19	火	波田野節子	李光洙	中央公論新社
2016	2	23	火	小熊英二	生きて帰ってきた男	岩波書店
2016	3	29	火	伊高浩昭	チェ・ゲバラ	中央公論新社
2016	4	26	火	加藤典洋	戦後入門	筑摩書房
2016	5	31	火	佐道明広	自衛隊史	筑摩書房
2016	6	17	火	大久保昭・江川紹子	「歴史認識」とは何か	中央公論新社

2016	7	22	金	櫻澤誠	沖縄現代史	中央公論新社
2016	8	23	火	大塚信一	宇沢弘文のメッセージ	集英社
2016	9	27	火	新宮一成	ラカンの精神分析	講談社
2016	10	18	火	加藤晴久	ブルデュー 闘う知識人	講談社
2016	11	29	火	宮川敬之	和辻哲郎	講談社
2017	1	31	火	柄谷行人	憲法の無意識	岩波書店
2017	2	28	火	野嶋剛	台湾とは何か	筑摩書房
2017	3	28	火	蒲生俊敏	日本海	講談社
2017	4	25	火	池内恵	【中東大混迷を解く】サイクス=ピ コ協定	新潮社
2017	5	16	火	宇野重規	保守主義とは何か	中央公論新 社
2017	6	27	火	西川武臣	ペリー来航	中央公論新 社
2017	7	18	火	呉座勇一	応仁の乱	中央公論新 社
2017	8	22	火	麻田雅文	シベリア出兵	中央公論新 社
2017	9	19	火	島泰三	ヒト	中央公論新 社
2017	10	24	火	山本紀夫	トウガラシの世界史	中央公論新 社
2017	11	21	火	川田稔	柳田国男	筑摩書房
2018	1	30	火	島田雅彦、仲正 昌樹	野火、全体主義の起原 100分 de名著	NHK出版
2018	2	27	火	合田正人	入門ユダヤ思想	筑摩書房
2018	3	27	火	國分功一郎、山 崎亮	僕らの社会主義	筑摩書房
2018	4	24	火	三谷太一郎	日本の近代とは何であったか	岩波書店
2018	5	24	木	高田貫太	海の向こうから見た倭国	講談社
2018	6	26	火	バイヤール	読んでいない本について堂々と語 る方法	筑摩書房
2018	7	24	火	吉田一郎	国マニア	筑摩書房

2018	8	28	火	ウインブラント	歯痛の文化史	朝日出版社
2018	9	25	火	桃井治郎	海賊の世界史	中央公論新 社
2018	10	30	火	マゾワー	バルカン	中央公論新 社
2018	11	27	火	岩崎周一	ハプスブルグ帝国	講談社
2019	1	29	火	神島裕子	正義とは何か	中央公論新 社
2019	2	26	火	原田泰	ベーシック・インカム	中央公論新 社
2019	3	26	火	吉見俊哉	トランプのアメリカに住む	岩波書店
2019	4	25	木	梶谷懐	中国経済講義	中央公論新 社
2019	5	21	火	川上和人	鳥類学者 無謀にも恐竜を語る	新潮社
2019	6	25	火	藤原辰史	トラクターの歴史	中央公論新 社
2019	7	30	火	森本あんり	異端の時代	岩波書店
2019	8	27	火	マルクス・ガブリ エル	なぜ世界は存在しないのか	講談社
2019	9	24	火	寺西重郎	日本型資本主義	中央公論新 社
2019	10	29	火	高槻泰郎	大坂堂島米市場	講談社
2019	11	26	火	早島泰祐	徳政令	講談社
2020	1	28	火	ハン・ガン	ギリシア語の時間	晶文社
2020	2	25	火	ケン・リュウ	紙の動物園(もののあわれ)	早川書房
2020	3	17	火	國分功一郎	中動態の世界	医学書院
2020	4				コロナ禍のため中止	
2020	5	26	火	劉慈欣	三体	早川書房
2020	6	30	火	マルクス・ガブリ エル他	未来への大分岐	集英社
2020	7	21	火	前田勉	江戸の読書会	平凡社
2020	8	25	火	藤原辰史	戦争と農業	集英社イン ターナシヨナ ル

2020	9	29	火	武田砂鉄	紋切型社会	新潮社
2020	10	20	火	内田宗治	外国人が見た日本	中央公論新 社
2020	11	17	火	イザベラ・バード	日本奥地紀行	平凡社
2021	1		火	野口雅弘	マックス・ウェーバー 近代と格闘 した思想家	中央公論社
2021	2		火	蔭山宏	カール・シュミット ナチスと例外状 況の政治学	中央公論社
2021	3		火	住吉雅美	あぶない法哲学 常識に盾突く思 考のレッスン	講談社
2021	4			ブレイディみかこ	労働者階級の反乱 地べたから見 た英国EU離脱	光文社
2021	5		火	堤未果、中島岳 志、大澤真幸、 高橋源一郎	別冊NHK100分de名著 メディアと 私たち	NHK出版
2021	6		火	斎藤幸平	人新世の「資本論」	集英社
2021	7		火	伊藤之雄	元老－近代日本の真の指導者た ち	中央公論社
2021	8		火	一ノ瀬俊也	東條英機	文藝春秋
2021	9		火	馬部隆弘	椿井文書－日本最大級の偽文書	中央公論社
2021	10		火	北澤豊雄	ダリエン地峡決死行	産業編集セン ター
2021	11		火	角幡唯介	アグルーカの方行方 129人全員死亡 フランクフルト隊が見た北極	集英社
2022	1		火	紺屋紗月・熊谷 晋一郎	つながりの作法 同じでもなく違 うでもなく	NHK出版
2022	2		火	中島岳志 他	「利他」とは何か	集英社
2022	3		火	山口尚	日本哲学の最前線	講談社
2022	4		火	佐々木閑	仏教は宇宙をどう見たか アビ ダルマ仏教の科学的世界観	化学同人
2022	5		火	堤未果	デジタル・ファシズム 日本の 資産と主権が消える	NHK出版
2022	6		火	蟹江憲史	SDGs (持続可能な開発目 標)	中央公論社
2022	7		火	虎尾達哉	古代日本の官僚 天皇に仕えた 怠惰な面々	中央公論社
2022	8		火	戸部良一 他	失敗の本質 日本軍の組織論的 研究	中央公論社
2022	9		火	ドリアン助川	線量計と奥の細道	集英社

2022	10		火	関幸彦	刀伊の入寇 平安時代、最大の 対外危機	中央公論社
2022	11		火	千々和泰明	戦争はいかに終結したか 二度の大 戦からベトナム、イラクまで	中央公論社
2023	1		火	黒川祐次	物語ウクライナの歴史ーヨー ロッパ最後の大国	中央公論社
2023	2		火	川島康之	60分で名著解説 クラウゼ ヴィッツ『戦争論』	日経ビジネス
2023	3		火	熊倉潤	新疆ウイグル自治区ー中国共産 党支配の70年	中央公論社
2023	4		火	千葉雅也	現代思想入門	講談社
2023	5		火	仲正昌樹	集中講義！日本の現代思想ーポ ストモダンとは何だったか	NHK出版
2023	6		火	望月雅士	枢密院ー近代日本の「奥の院	講談社
2023	7		火	石井幸孝	国鉄ー「日本最大の企業」の栄 光と崩壊	中央公論社
2023	8		火	カルロ・ロ ヴェッリ	すごい物理学入門	河出書房新 社
2023	9		火	二間瀬敏史	ブラックホールー宇宙最大の謎 はどこまで解明されたか	中央公論社
2023	10		火	國分功一郎	暇と退屈の倫理学	新潮社
2023	11		火	ポール・ラフォ ルグ	怠ける権利	平凡社